

きぼう

2000年(平成12年)6月
第21号

かしの木の会
檜の木グループ
事務局

☎494-0018 : 尾西市富田字砂原2147番地

TEL : 0586-63-2111

編集責任者 : 広報研修委員会

「かしの木の里」竣工式と内覧会のお礼

社会福祉法人 檜の木福祉会
理事長 岡田 春雄

拝啓

初夏の候 ご貴殿におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は社会福祉法人檜の木福祉会の心身障害者(児)支援事業ならびに、地元の尾西市を中軸とした福祉推進活動に対し、格段のご理解とご尽力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、先般の平成12年3月4日から5日にかけて執り行いました「かしの木の里」竣工式並びに内覧会につきましては、ご多忙の折りにもかかわらず多くの方々にお越し戴き、お陰をもちまして式典も盛会のうちにつつがなく終え、施設の建物の中身も隅々まで格別なるご評価のお言葉を頂戴することができました。これも偏えに、ご貴殿をはじめ支援者の皆様方のご協力の賜と心より深く感謝致しております。さて、「かしの木の里」は、かような皆様方の一方ならぬご恩に報いるには常により善き方向をきちんと見据えながら歩んでゆきたい、そしてそれを実現する方法は何よりも先ず、障害を持つ方ひとりびとりが生活の匂いのする大人として、「上手くー楽しくー遅しく」、喜怒哀楽豊かに、その人らしく生き甲斐をもって、生かされるのではなく自らが生きているという実感を持ちながら、生き活きと生活することができるようそこはかたく支援してゆくことが肝腎である、と考えております。そのためにも、わたくし共檜の木福祉会の役員、職員一同、これからも地域の福祉発展のため全力を挙げ、鋭意努力してゆく所存でございます。ご挨拶が遅れましたことお詫びしますと共に、ご貴殿におかれましてはより一層のご指導とご支援のほど賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

かしの木の会設立総会開く

会長 堀江昭夫

新緑の季節を迎えました。地域の皆様には日頃より大変お世話になっており、感謝いたしております。

さて、4月29日のみどりの日に尾西文化会館で会員約120名の出席の下、大島尾西市長様はじめ多数の来賓の参加を得、総会にて「かしの木の会」を設立致しました。

これまでの19年間は、檜の木福祉会が運営する各福祉施設を利用する親が中心になって「この子等の幸せを考える親の会」が地域の知的障害者の支援運動を進めてきました。ここに至って、親の高齢化も進んできており、家族形態の変化をはじめ社会の変化は著しいものがあります。とりわけ「ハンディがあろうとなかろうと共に暮らすふれあいの街づくり」が進められてきている昨今、これからの活動は、親だけでなく、施設職員も、地域に住む人たちも、広く市民が関わり合っていくことが大切なことと思うようになりました。かしの木の会の趣意書にありますように、私たちの住む地域がおおきな家族のように暮らしていけるようにと本年2000年にスタートを切りました。皆様方には、このかしの木の会設立の趣旨にご理解を頂き、これまでと変わらぬご指導を頂ければ幸いです。



総会で挨拶する 堀江かしの木会長

この子等の幸せを考える親の会 から

かしの木の会へ

地域の心身障害者（児）の福祉の増進と、会員相互の親睦を目的として＜この子等の幸せを考える親の会＞が発足したのは、今から 19 年前の昭和 56 年 9 月のことでした。親たちが中心となり、障害を抱えている我が子たちが少しでも幸せに暮らせるようにと、皆で力を合わせて今日まで努力してまいりました。

地域の皆様方には、各地で催される福祉バザーや、物資販売等でご協力頂いたり、会報誌「きぼう」で会活動をお伝えしてきました。

又、行政当局ならびに関係各位のご理解とご尽力により「檜の木作業所」と「檜の木園」の 2 つの通所施設と、そして今回生活施設「かしの木の里」という合計 3 つの認可施設を建てて頂くことができましたことは、私共親たちにとりまして、大変心強く思った次第でございます。

この影には今は亡き小塚 清前会長のリーダーとしての功績が大なるものであったことは言うまでもありません。

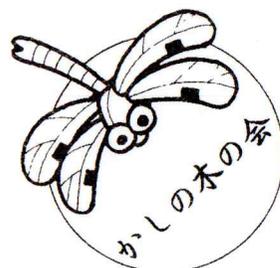
親の高齢化に伴い、本人にとっては片親だけでなく両親とも亡くなった方も年々増え、この先これまでのように親の会を維持していくことが困難となってまいりました。

障害のある者も、地域の一員として豊かに暮らしていけるように親だけでなく、檜の木職員や関係者、そして一般の方々も支援をお願いしていこうと親の会の組織や、名称を改め「かしの木の会」として再出発することとなりました。

そしてこの「かしの木の会」では障害を抱える方々はもちろんのこと、社会の中で弱い立場にある方々への支援もしていこうと考えております。

世の中が殺伐となっている今、障害がある人もない人も子どもからお年よりまで一人一人が大切にされ、お互いに助け合えるような社会になればと願っています。

親の会のこれまでの 19 年間の歩みを大切に、これから始まる「かしの木の会」へと引き継ぎました。皆様のあたたかいご支援をこれまで以上によりしくお願い致します。



かしの木の会

【趣意書】

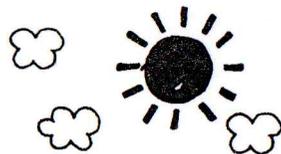
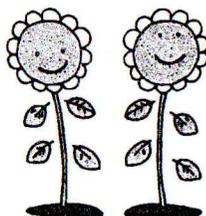
人は皆、一人一人に様々な「差」があります。

私たちは、どんなに大きな「差」であろうとそれを「個性」と認め、一人一人の個性的な自己実現を尊重し、応援していく活動を通して、人が人として認め合い理解し合うということの意味を探求し続け、世の中のすべての人達の幸福につながる活動を行なっていきたくと願っています。

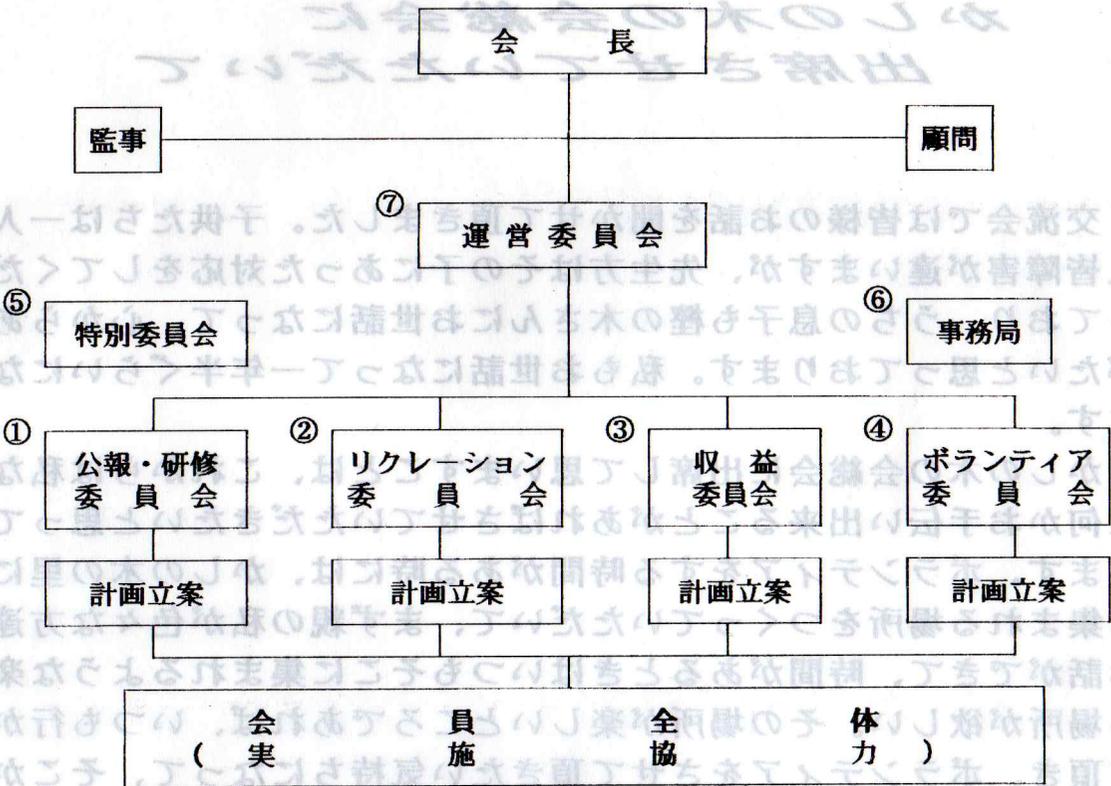
私たちはこの個性豊かな人々と共に生き、この活動を行なっていくために、次のことを大切にしたいと考えます。

- 1、 障害があろうとなかろうと、社会の一員として一人一人を大切にし、お互いに助け合いながら生きていこうとする人々の集まりであること。
- 2、 檜の木各福祉施設を活動の拠点として、広く地域に在住の障害者（児）のみならずあらゆる社会的弱者への支援をしていく。
- 3、 一般社会との相互理解をすすめながら、地域の障害者福祉計画ならびにその実現に協力していく。
- 4、 人と人とが交流し、人の輪が広がっていくように、地域社会とのつながりを持ち、この地域が一つの大きな家族のように手をつなぎ合って生きていく中心となる。

以上の趣旨に賛同され、私たちの仲間になって頂ける方は、「かしの木の会」の会員になって下さい。あなたのお気持ちと、会費が「かしの木の会」の支えとなります。



かしの木の会の組織のご案内



- ①公報研修委員会 : 会報誌きぼうを年4回発行します。会活動や榎の木の福祉施設のとりくみや公共的なさまざまな情報をお伝えします。広くお伝えしたいです。また地域の活動の情報収集を始めます。学習会や講演会を企画します。
- ②リクレーション委員会 : 地域の障害者(児)と親子遠足や餅つき大会などを実施します。ふれあいスポーツ大会や榎の木の行事にも参加します。陶芸教室や料理教室等会員相互の親睦を図ります。
- ③収益委員会 : 手芸品製作会を開催し、すてきな手作り作品をつくります。会員・市民の交流啓蒙収益を図ります。尾西祭りや、近隣の福祉施設や、松坂屋、等々へ出掛けます。お中元やお歳暮時に物資販売に取り組みます。
- ④ボランティア委員会 : 今年度より設けました。少しずつボランティア活動を進めていきたい互いに交流し、ふれあいを図っていきます。やがては、福祉の街づくりに発展していけるものにしていきたい。
- ⑤特別委員会 : 将来構想・イベント委員会。榎の木福祉会の事業への要望や地域の障害者や社会的弱者への支援や、福祉の街づくりへの取り組みなど、様々に検討し、短期・長期の計画を立て実践を進めていきたい。イベントに取り組みます。
- ⑥事務局 : 会活動の事務を担当。会へのお問い合わせや入会手続きや様々なご意見やご相談の窓口になっています。かしの木の会の事務局は社会福祉施設かしの木の里内にあります。
- ⑦運営委員会 : かしの木の会の運営を担います。上記4つの委員会の役員より構成され、会活動のまとめ役になります。地域の方、機関・団体より助言を戴けるようになるまでがんばります。

かしの木の会総会に 出席させていただいて

交流会では皆様のお話を聞かせて頂きました。子供たちは一人一人皆障害が違いますが、先生方はその子にあった対応をしてくださっており、うちの息子も榎の木さんにお世話になって、心からありがたいと思っております。私もお世話になって一年半ぐらいになります。

かしの木の会総会に出席して思いますことは、これからは私なりに何かお手伝い出来ることがあればさせていただきたいと思っております。ボランティアをする時間がある時には、かしの木の里にでも集まれる場所をつくっていただいて、まず親の私が色々な方達とお話ができ、時間があるときはいつもそこに集まれるような楽しい場所が欲しい。その場所が楽しいところであれば、いつも行かせて頂き、ボランティアをさせて頂きたい気持ちになって、そこからボランティアの輪が広がると思います。

私も頑張ろうと思えます。よろしく願いいたします。

平野 伊久



交流会の光景

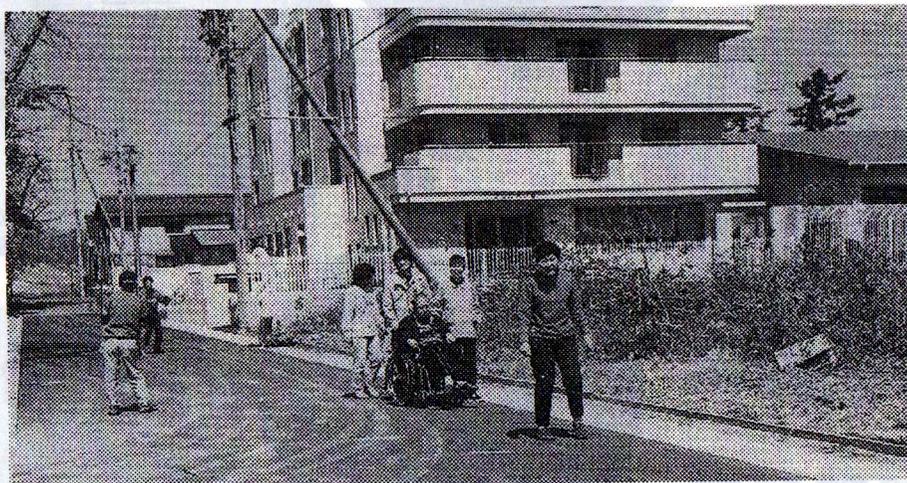
かしの木の里 スタートしました

平成12年4月、かしの木の里の生活がスタートしました。

「障害があろうとなかろうと、誰もが安心して暮らせる街づくり」のための大きなステップとして、利用者50名、スタッフ29名の新たな共同生活が始まり、この実践の中にいられることの幸せをかみしめる毎日です。

思えば、決して大きいとはいえないこの尾西市に、これだけの施設ができたことは、数多くのすばらしい理解者の方々との出会いがあり、強い追い風に後押しをされていたような、何かしら不思議な力が働いていたような気がします。このことはやはり、この地域の親の会をはじめ多くの人たちの願いや、何よりこの檜の木がたくさん仲間たちの純粋な想いが、この大きな力の原動力となっていたのでしょう。

かしの木の里の皆さんが、ひとりひとり光りますよう、かしの木の里がこの地域の福祉の拠点として、多くの人たちの心のより所となれますよう、この地域にこれからも追い風が吹いていますようにと祈りをこめて、大切な、そして大きな一歩を踏み出していこうと思います。



散歩する里の人たち

★ ★

かしの木の里

スタッフ紹介

★ ★



伊藤 豪
陶芸担当



森田 幸恵
軽作業担当



野崎 貴詞
主任



鷺尾 廉仁
軽作業担当



奥田 政雄
事務長



石田 和夫
施設長



樋田 将司
軽作業担当



武田 信之
ボランティア担当



服部 愛
園芸担当



西川 静香
園芸担当



山口由美子
調理員

渡辺はな子
調理員

大野 さちこ
事務員

橋倉 啓二
調理員



原 ミチ子
軽作業担当



日下部 直美
栄養士





水野 真澄
手芸担当



後藤 育子
看護婦



胡桃沢 清佳
軽作業担当



石黒 薫代
軽作業担当



柴田 正弥
軽作業担当



川瀬 忍
園芸担当



河合 久美
園芸担当



脇田 麻美
園芸担当



龍田 昌克
軽作業担当



山田 麻紀
陶芸担当



日置 竜也
園芸担当



古川 和弘
園芸担当



高木 淳次
軽作業担当

よろしく
おねがい
します!



岩井 洋一
調理員

文芸
コー
ナ
ー

明日香村

俳人協会会員

岡田波流夫

浮島となる耳成山みみなしや代田澄む

手庇で避ける山陵松落葉

盗堀の古墳は虚ろ目細鳴く

葉桜となり石舞台落ち着きぬ

慈悲心鳥啼くや悲運の皇子の塚



<お知らせコーナー>

(1)収益委員会では毎月1回福祉バザーに出品する手芸品の制作を行なっています
お手伝いいただける方を募集中です、ぜひご連絡下さい。

<連絡先>かしの木の里 ☎0586-63-2111

(2)樫の木盆踊り大会用の不用品の提供をお願いします。

ご家庭に眠っている贈答品、日曜雑貨品などございましたら、ぜひご提供
をお願いします。

<受付期間> 7月1日～7月31日 <提出場所> かしの木の里

(3)手芸制作会の日程◇6月6日(火) 南部公民館

◇7月10日(月) 文化会館

◇8月29日(火) かしの木の里 ※時間いづれも 9:30～15:00